

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

ウィークリー・レポート

Weekly Report

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
T E L 0572-25-5100
F A X 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
H P http://tajiminishi.jimdo.com
会 長 加藤 真左子
幹 事 山田 正史



ロータリー：
変化をもたらす



第 2495 例会 2018 年 2 月 15 日

2 月は平和と紛争予防紛争解決月間

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング
それこそロータリー
四つのテスト

ビジター紹介 会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告



卓話者紹介 加藤健治君

卓 話 米山奨学生 劉佳慶君
「日本人が誤解している中国」

点 鐘

卓話者のご紹介

米山奨学生 劉佳慶君

(りゅう かけい)



生年月日 1987 年 6 月 26 日

中国天津市出身

南山大学 人類文化学専攻

研究テーマ「哲学、文化人類学」

2006 年 9 月～2009 年 10 月 武漢科技大学

2011 年 10 月～2013 年 3 月

名古屋 S K Y 日本語学校

2013 年 4 月～2015 年 3 月

名古屋コミュニケーションアート専門学校

2015 年 4 月～ 南山大学

中国での職歴 カメラマン・建築構造エンジニア

着信書類

- ・姉妹クラブ・友好クラブアンケートの協力をお願い
- ・2017～18 年度第 40 回地区ローターアクト
年次大会 「無知の知」登録の案内
- ・世界合唱シンポジウム参加報告と収支報告拝受
- ・次期会長幹事会の案内

4 月 25 日 (水) 14:30～ 産業文化センター

●出席報告

会員数 36名 免除者 4名 出席義務者 32名

出席者	欠席者	出席率
28名	5名	84.84%

●スマイル報告

投函者 18名 金額 21,000円

2月1日は創業記念日です。

今年で40年になりました。 佐藤 正

先週の卓話

有限会社ひなたぼっこ さと 上原理恵様

「共生・未来にむかって」



14年前に老人のデイサービスから始め現在は老人ホーム、小規模の保育園、重度の障害児の支援をしている「ひなたぼっこさと」という事業所です。私は看護師になって30年になりますが、子供

から老人までみんなで暮らしていく場所が必要であると考えようになりました。0歳から102歳までの人が一同に過ごすことが出来、様々な人が共生、活動し、お年寄り、障がい者、子供たちの笑顔が詰まっている場所をつくりたいという思いで「ひなたぼっこの森」を建設するために活動しています。シングルマザーハウス、障がい者のファミリーホーム、里親ファミリーホーム、高齢者の住まい、単身者の住まい、子供食堂、就労支援、そういった集合体がひなたぼっこの森です。現在は7000坪の土地も取得して森の夢マップを制作中です。「思えば叶うという願いを込めています。」そしてもう一つ「安らかな自然な看取りを大切にしたい」という思いがあります。命は薄く尊いものですが、一步一步死に近づいていきます。今まで看護師として濃厚な治療を続けて辛い姿のご遺体をたくさん見てきましたし、施設で看取るということも増えてきました。必要なケアはするが延命治療はしない。人生の最後に「ここでよかった。この人でよかった。」と感じて貰えるケアを大切にしていきたいと考えています。ひなたぼっこの森が幸せを感じる事が出来るそんな命の森になればと頑張っています。

新会員研修セミナー報告

森田宏治（平成27年6月4日入会）

2月12日午後1時より、名鉄グランドホテルにおいて新会員研修セミナーが開かれました。

当日は2630地区の入会3年未満の会員約200名が参加し、ロータリーの参加の意義や魅力などについて講義が行われました。我が多治見西RCからは、加藤三紀さんと私の2名の参加で少し寂しい感じがしましたが、内容は大変面白く、さらにロータリーが素晴らしいものであることを実感できました。今回特徴であったのが、全体的に言葉がとてもわかりやすかったことです。冒頭田山ガバナーの挨拶でも「新会員を前提で今日は話をします」と宣言されており、ロータリーは難しい言葉話すことではない、品格と誇りを持って参加すること、自分のクラブだけではなく他のクラブへメーキャップしてもらい、多くのロータリアンと触れて上質なネットワークを構築して欲しいと語っていました。

また、丸尾情報部門委員長の話では、成功者になるということは「お金＝成功者」ではない。一生健康ですべてにおいて充実した人生を歩んだ人のことである。ロータリーに長く参加している人のほとんどは「俺は幸せだ」と話しており、我が西クラブのメンバーを振り返った時、まさしくこの通りだと思いました。こういった上質な成功者と一緒に過ごせることがロータリーの最大の価値であり、自分も先輩方のように「幸せだ」と思えるよう勉強していきたいと感じました。大変興味深かったのが、アメリカで行われた80歳以上の一般の方へのアンケート結果の紹介があり、人生で悔やまれることはなんですか？との問いに、1位がチャレンジをしなかったこと、2位が幸せをもっと噛み締めて生きるべきだった、3位がもっと他人のためにつくせばよかった。とのことで、ロータリークラブに在籍していることは、この3つをクリアできることでもあり、ロータリアンであるということは人生を豊かにしていることであると実感しました。今回は会員増強部門が主催していることもあり、今回聞いた内容を自分なりの言葉に置き換え、まだロータリアンでない人たちへ伝えていきたいと思えます。



← 木村ガバナーエレクト
からのエアメール
2018～19年度
R I テーマ
「インスピレーションに
なろう」

来週（2月22日）の予定
お祝い例会
場所：オースタット国際ホテル
11:30～食事 12:30点鐘
小瀧康裕君入会式